

データ移行ツールを用いた各農業委員会等利用システムへのアップロード手順について

1. はじめに

変換業者からフェーズ 2 移行用 CSV ファイルを受領後、データ移行ツールを用いて農地情報公開システムにデータをアップロードする。農地情報公開システムの利用、全国農地ナビで農地情報を公開するために、データ受領後速やかにアップロードする必要がある。

データ移行ツールを用いてアップロードするには以下の手順が必要であり、それぞれの項目について次章から手順を記載する。

【データ移行ツール（LGWAN 端末）での作業】

- ①データ移行ツールをインストールする
- ②移行用 CSV ファイルを選択し、データ移行ツールに取り込む
- ③移行用 CSV のレイアウト設定・チェックを行う
- ④移行用 CSV ファイルの論理チェックを行う
- ⑤移行用 CSV ファイルをアップロードする

2. アップロード手順

(1) データ移行ツールをインストールする

本ツールは LGWAN 回線に接続可能な端末にインストールして利用するシステムのため、LGWAN 回線が利用できるパソコン、フェーズ 2 の ID とパスワード(各農業委員会等利用システムと同じもの)を用意していただきたい。

ブラウザ(IE11)を開き、下記の URL を入力しアクセスすると本ツールをインストールすることができる。インストールが完了すると、図 1 のインストール完了画面(ログイン画面)が表示されるので、フェーズ 2 の ID とパスワード(各農業委員会等利用システムと同様のもの)を用いてログインする。

【パスワードを忘れた場合】

①パスワードのみ忘れた場合

→各農業委員会等利用システムのログイン画面にある「パスワードを忘れた方はこちら」から再発行処理を行う。

②ID、パスワード共に不明な場合

→農地情報公開システム事務局か総合ヘルプデスクまで照会の連絡をする。

③利用申請書未提出

→利用申請書を提出しないとフェーズ 2 の ID とパスワードの発行を行えない。未提出の委員会等はデータ移行の準備が出来次第農地情報公開システム事務局に利用申請書を提出する。

URL : https://alis-ac.rcloud.asp.lgwan.jp/R-Stage_SetDB/R-STAGE_SetDB.application



図 1：データ移行ツールログイン画面

(2)-1 移行対象データの選択をする

本ツールにログインすると、図 2 の移行対象データ選択画面が表示される。

移行対象データごとに、橙枠【新規】ボタンを押下するとデータの取込画面に遷移する。

また、図 2 赤枠にはログインしたユーザーの農業委員会コードが表示されているので、誤りがないか確認をしていただきたい。



図 2：移行対象データ選択画面

(2)-2 データを取り込む

【新規】 ボタン押下後、図 3 の取込画面が表示される。取込対象データは「農地/個人/世帯・法人」となるが、取込方法はすべて同様のため本資料では「農地データ画面」を用いて説明する。

- ① 「参照」 ボタンをクリックする。
- ② 取込用の CSV ファイルを指定し、「開く」をクリックする。

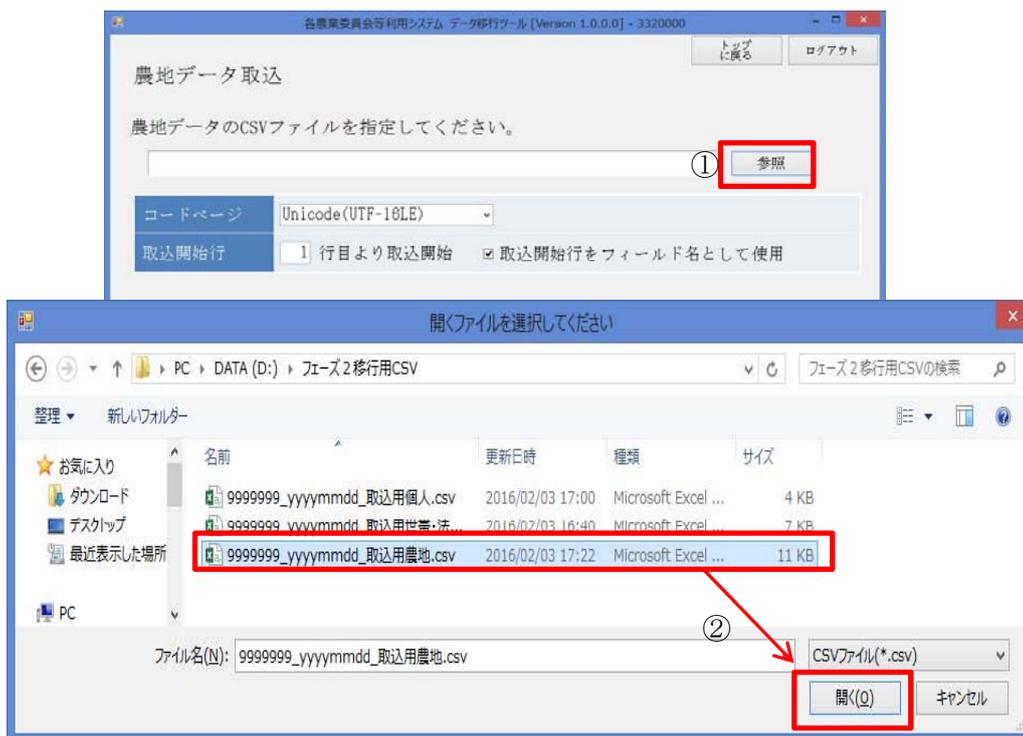


図 3：データ取込画面

- ③ コードページを選択する。

コードページは「Unicode (UTF-16LE) / Unicode (UTF-8 BOM あり)」の 2 種類があり、変換業者に指示されたコードページを選択する。不明な場合は変換業者へ確認すること。

- ④ 取込開始行は「1」を指定（初期値で「1」となっている）し、[取込開始行をフィールド名として使用]を「」とする。

- ⑤ 「レイアウトチェック」ボタンをクリックする。

⑥ 取込開始のメッセージが表示され、[OK] ボタンを押下するとデータの取込を開始する。

⑦ 取込処理が完了すると情報メッセージが表示される。[OK] ボタンをクリックすると「レイアウト設定」へ遷移する。



図 4：コードページ設定～農地データ取込完了画面

(3) 移行用 CSV のレイアウト設定・チェックを行う

図 5「レイアウト設定・チェック」画面では、取込用データの項目順、データコードを「フェーズ 2 移行用 CSV ファイルレイアウト」で定義されている標準項目、標準コードに割当、変換する作業が行える。変換業者のデータ変換作業によって、取込用データの項目・コードが「フェーズ 2 移行用 CSV ファイルレイアウト」で定義した標準項目・標準コードと同一となっているので、本書では標準項目でのレイアウト設定・チェックの方法について説明する。

また、本作業も取込データで違いがないため、農地データを用いて説明する。

- ① [標準項目一括割当] ボタンを押下する。
- ② 一括割当を開始するメッセージが表示され、[OK]ボタンを押下する。

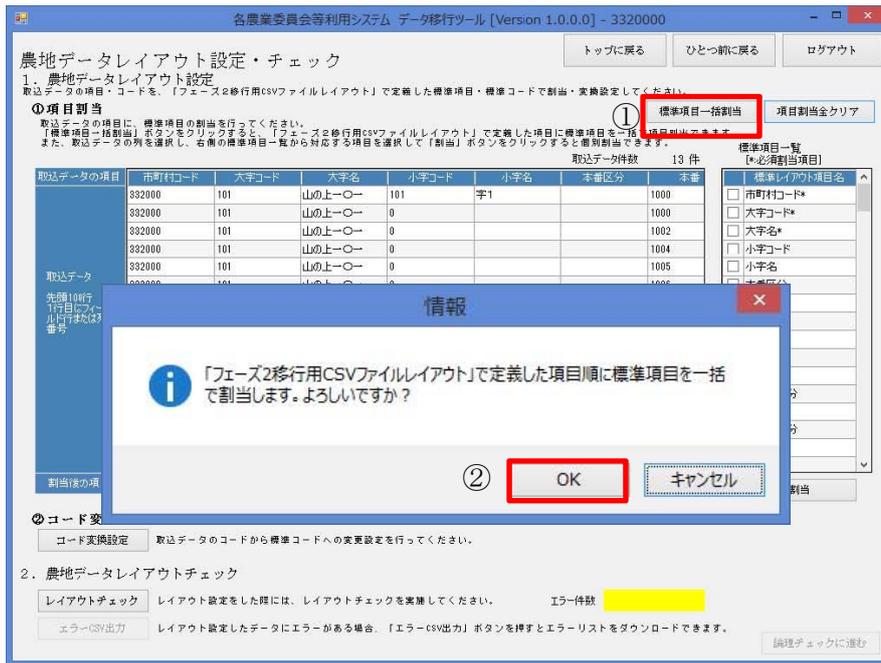


図 5 : 「レイアウト設定・チェック」画面

③ 「OK」ボタン押下後、図 6 赤枠の「割当後の項目」に標準項目が一括で割当てられる。問題なく割当が完了するとセルの色が灰色になる。

④割当完了後、[コード変換設定] ボタンをクリックし、取得データのコードから標準コードへの変換設定を行う。

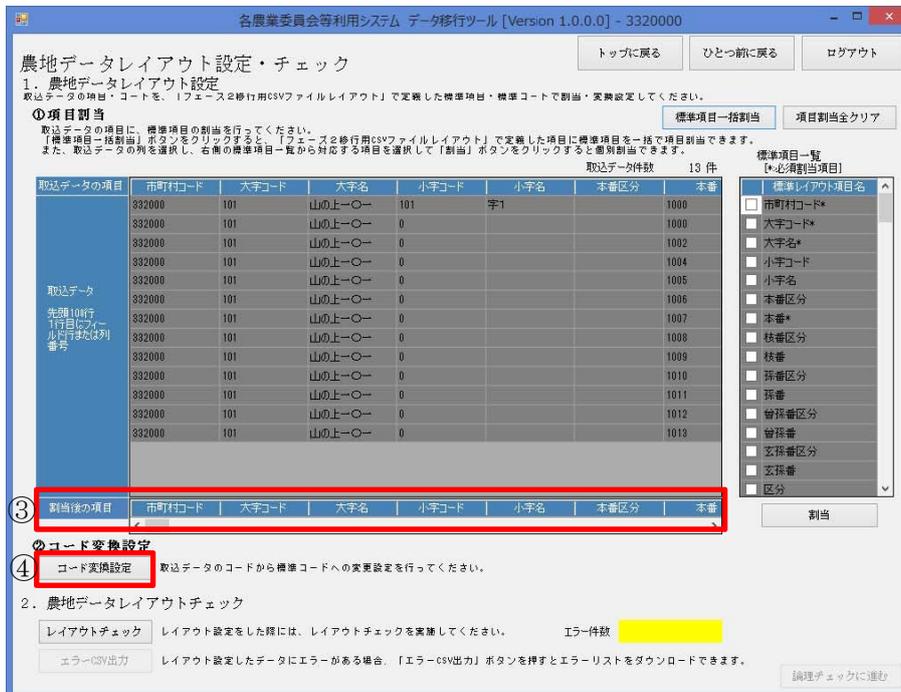


図 6 : 取得データの割当項目確定画面

- ⑤コード変換設定画面に遷移後、「標準コード表出力」を押下し、標準コード表を出力する。
- ⑥確認メッセージが表示され、[OK]ボタンを押下して標準コード表を出力する。
- ⑦保存先フォルダを選択して、[保存]ボタンを押下する。
- ⑧[保存]ボタンを押下すると出力処理完了のメッセージが表示されるので、[OK] ボタンを押下する。

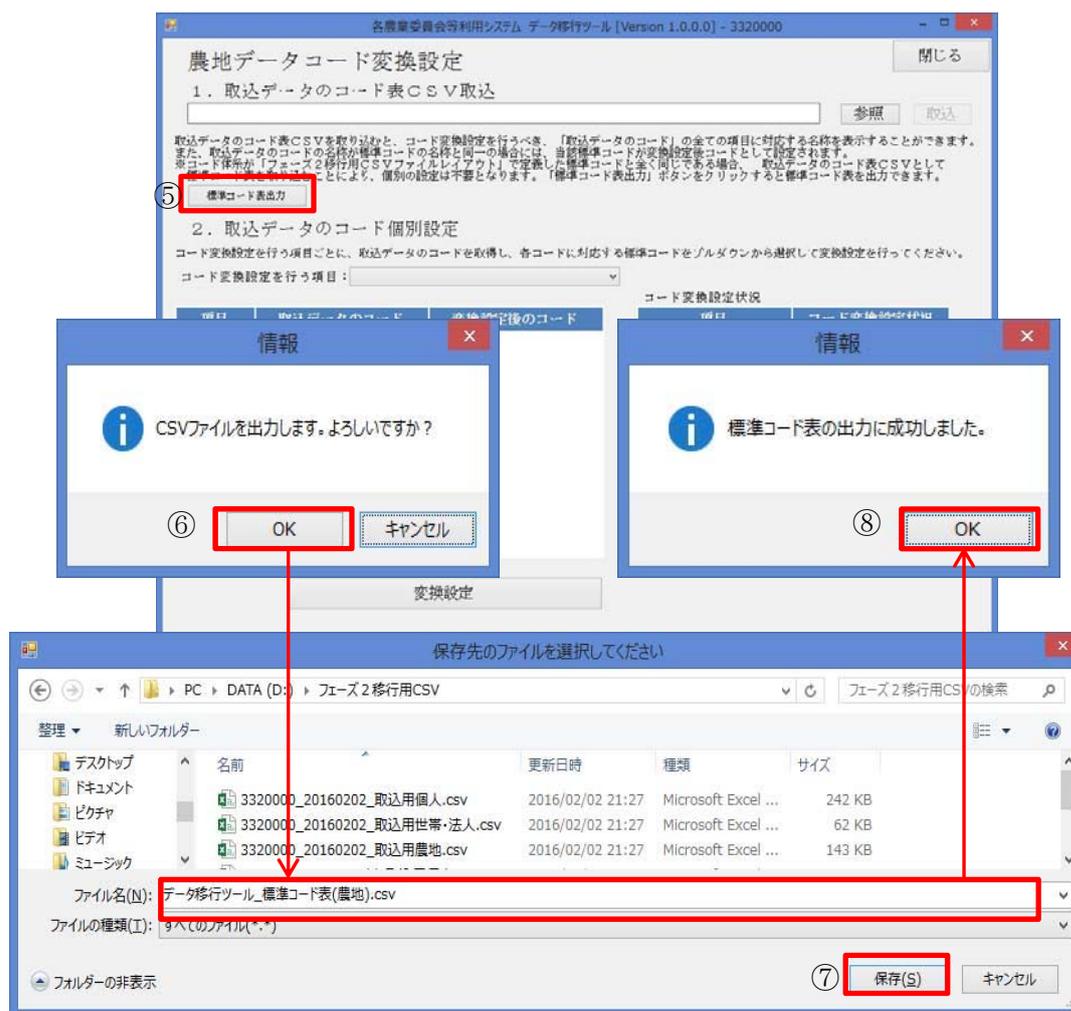


図 7：標準コード表出力画面

⑨[参照]ボタンを押下する。

⑩⑦で保存した CSV ファイルを選択し、[開く]ボタンを押下する。

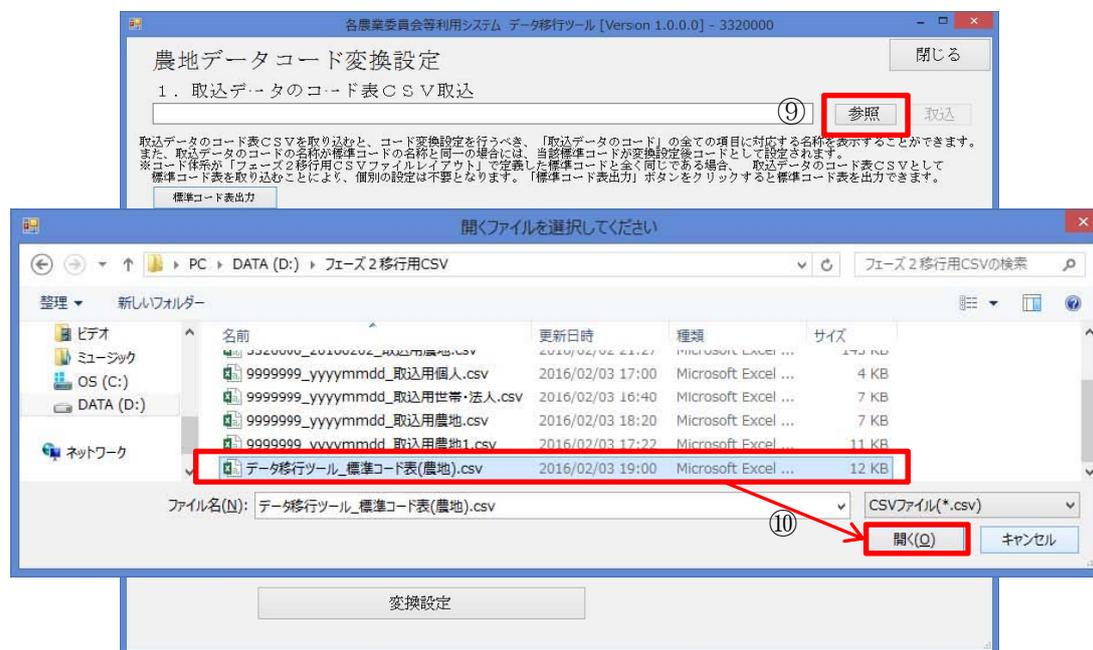


図 8：標準コード表選択画面

⑪選択した CSV ファイルが画面上に設定されるので、[取込]ボタンを押下する。

⑫取込成功のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンを押下する。

⑬[閉じる]ボタンを押下し、コード変換設定画面からレイアウト設定・チェック画面へ戻る。

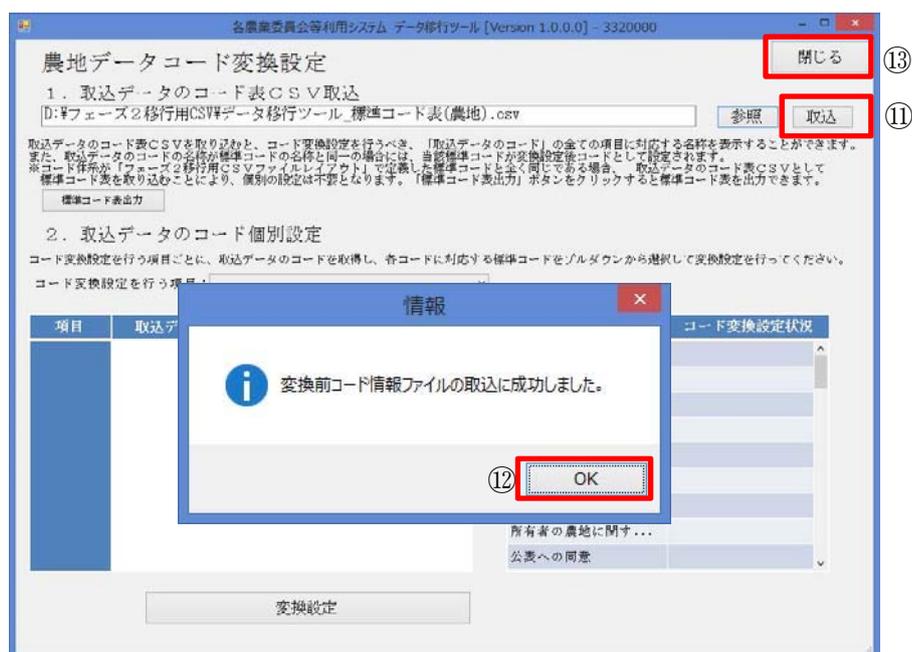


図 9：標準コード表取込完了画面

⑭ [レイアウトチェック] ボタンを押下する。

⑮ 処理実行のメッセージが表示されるので、[OK] ボタンを押下して、レイアウトチェックを行う。

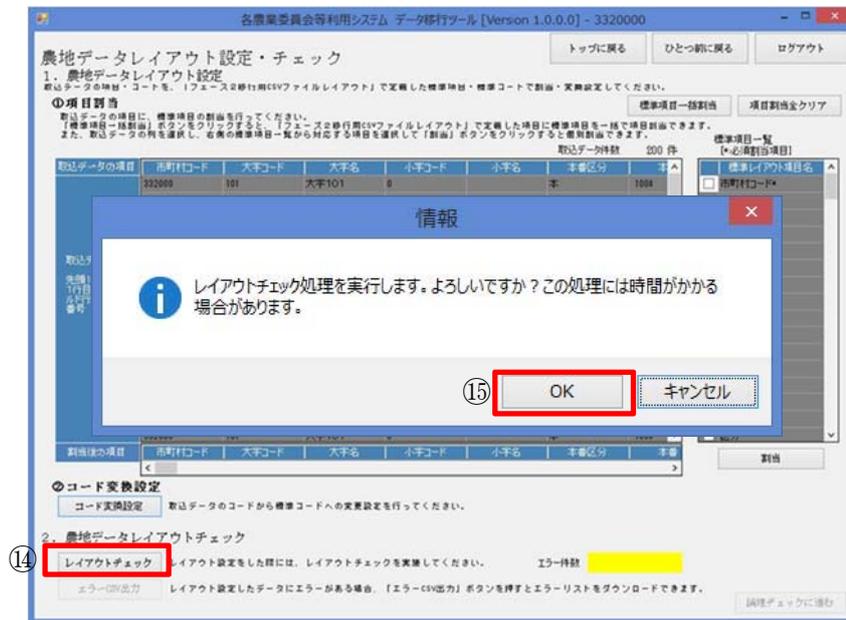


図 10：レイアウトチェック実行画面

⑯ レイアウトチェックの結果が確認メッセージで表示されるので、エラー件数が 0 であることを確認する。(エラーがあった場合の対応方法は、次ページを参照)

⑰ 確認後、「トップに戻る」ボタンを押下する。他のデータに関しても「データの取込」及び「レイアウト設定・チェック」を行う。

⑱ 全データ（「農地データ」、「個人データ」、「世帯・法人データ」の 3 種類）のレイアウトチェックが完了した時点で、[論理チェックに進む] ボタンを押下し「論理チェック」を行う。

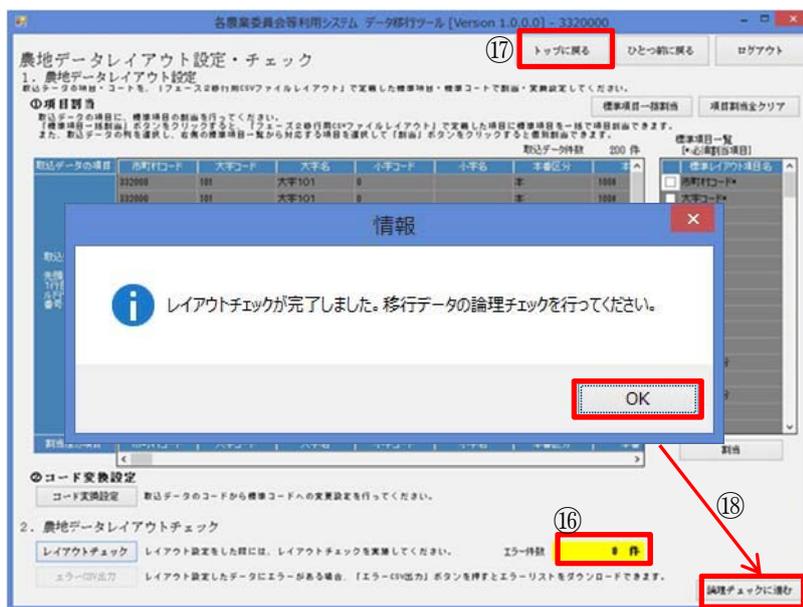


図 11：レイアウトチェック完了画面

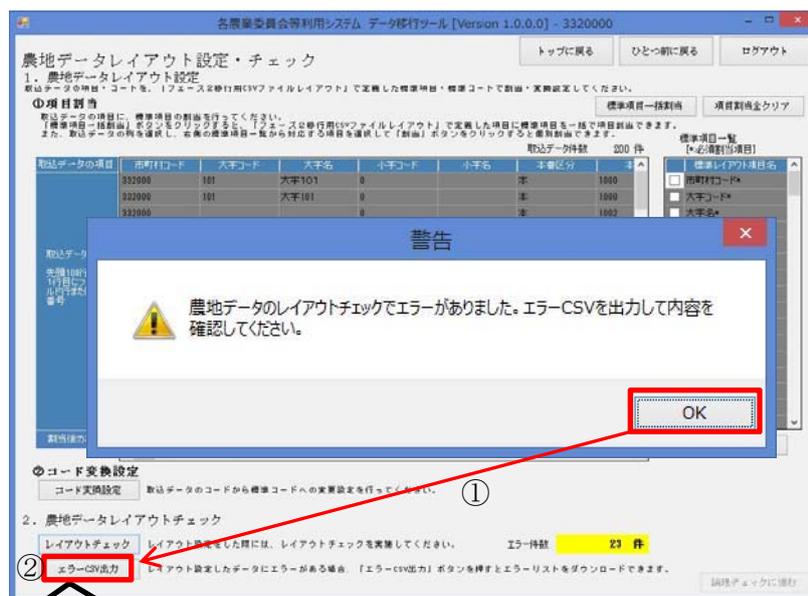
○レイアウトチェックでエラーがあった場合の対応方法（原則エラーは発生しない。）

①エラー件数がカウントされ、[エラーCSV出力]ボタンが有効となる。警告メッセージが表示されるので、[OK] ボタンを押下する。

※エラー件数が 10,000 件を超える場合、10,000 件まででレイアウトチェックは終了する。

②[エラーCSV出力]ボタンを押下し、エラーCSV ファイルを出力する。

レイアウトチェックエラーがある場合は、処理を先に進めることができない。エラーCSV ファイルの内容を変換業者等に問い合わせいただきたい。



有効になる。

図 12：レイアウトチェックエラー画面

(4) 移行用 CSV ファイルの論理チェックを行う

取り込んだデータの整合性を確認するために論理チェックを行う。論理チェック画面へは「レイアウト設定・チェック処理画面」の[論理チェックに進む]ボタン、または、「移行対象データ選択処理画面(図 2)」の[論理チェック]ボタンより遷移します。論理チェックはレイアウトチェックで解消が必須のエラーがなかった場合のみ実施でき、レイアウトチェックが完了したデータごとに実施することができる。

また、本作業も取込データで違いがないため、農地データを用いて説明する。

①[論理チェック実行]ボタンを押下する。

② 確認メッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックして論理チェックを実行する。

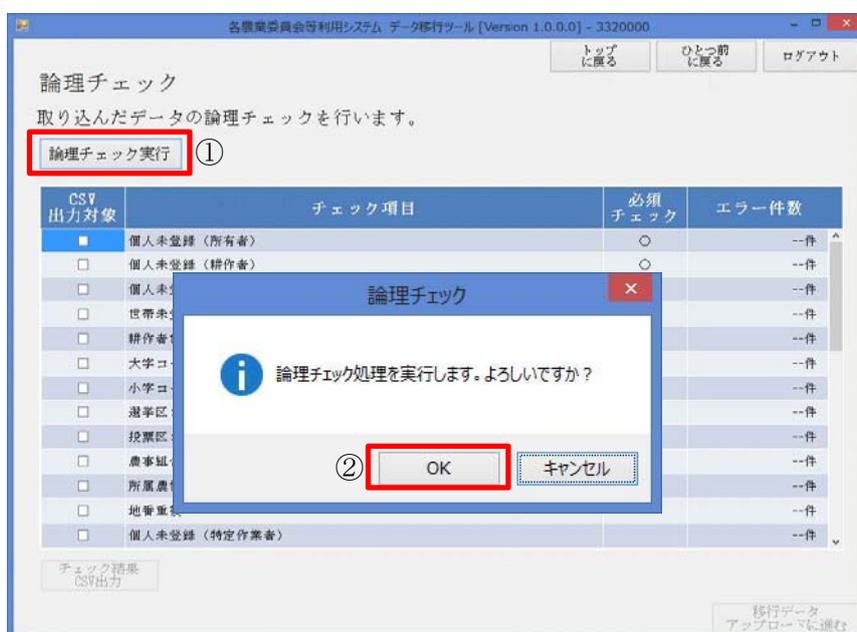


図 13：論理チェック実行画面

【エラーがなかった場合】

③エラー件数がすべて 0 件となり、[チェック結果 CSV 出力]ボタンも有効にならない。

④ 全てのデータの論理チェックが完了すると[移行データアップロードに進む]ボタンが有効になるので押下し、アップロード画面に遷移する。

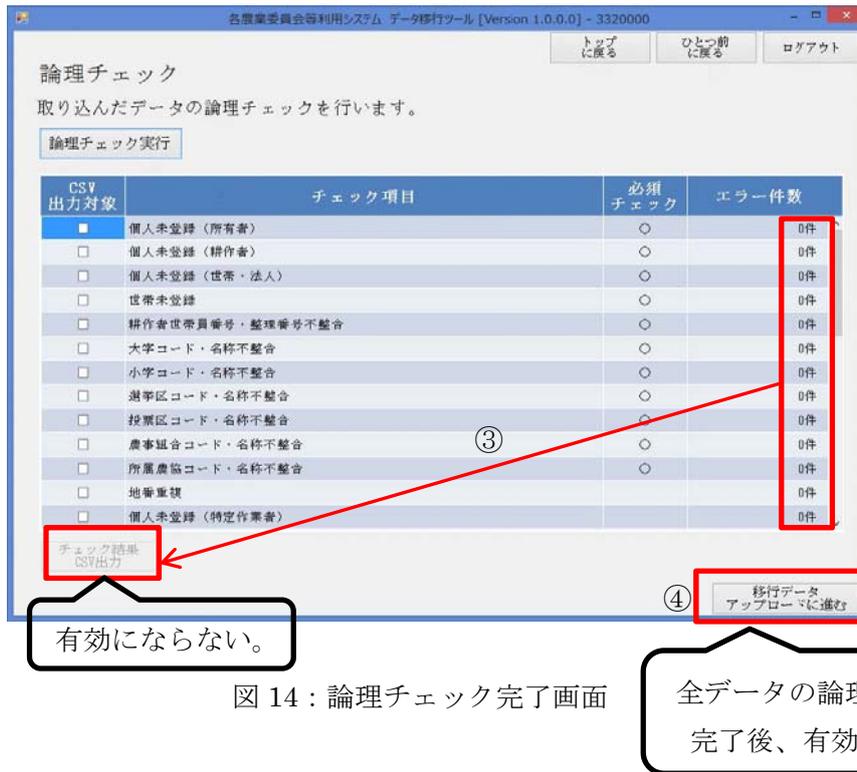


図 14：論理チェック完了画面

【エラーがあった場合】

エラーは、「解消が必須のエラー」と「解消が任意のエラー」の 2 通りがある。ただし、「解消が必須のエラー」はデータ変換作業により原則発生することはない。

1) 「解消が必須のエラー」がある場合(図 15 参照)

必須チェックに「○」があるチェック項目（「解消が必須のエラー」）にエラーがあった場合は、処理を進めることができない。チェック結果 CSV を出力し、エラー CSV ファイルの内容を変換業者に問い合わせていただきたい。

⑤エラー件数を確認し、エラーがある項目にチェックを入れる。

⑥「チェック結果 CSV ボタン」が有効になるので押下し、CSV を出力し、エラー内容を確認する。



2) 「解消が任意のエラー」がある場合(図 16 参照)

「解消が必須のエラー」がなかった場合は、移行データをアップロードすることが可能となる。フェーズ2移行用 CSV ファイルで修正を行わない場合は、[移行データアップロードに進む]ボタンをクリックし、移行データアップロード画面へ進む。

「解消が任意のエラー」は「各農業委員会等利用システム」移行後にも確認・修正することができる。

⑦移行前に修正する場合は、エラー件数を確認しエラーがある項目にチェックを入れる。

⑧「チェック結果 CSV ボタン」が有効になるので押下し、CSV を出力し、エラー内容を確認する。

⑨フェーズ2移行用 CSV ファイルで修正を行わない場合は、[移行データアップロードに進む]ボタンをクリックし、移行データアップロード画面へ進む。

* 「エラーがなかった場合」と同様に、全てのデータの論理チェックが完了後、「移行データアップロード画面」へ進める。



図 16：論理チェック画面
(解消が任意のエラーがある場合)

(5) 移行用 CSV ファイルをアップロードする (図 17 参照)

フェーズ 2 移行用 CSV ファイル「農地データ」、「個人データ」、「世帯・法人データ」の全てで論理チェックを行い、エラーがなかった場合、移行データをアップロードすることが可能となる。

※移行データのアップロードは 1 農業委員会等につき 1 回のみ可能となっている。1 回アップロードを行うと、この機能は使用できなくなる。万一誤ったデータをアップロードした場合など、再度アップロードが必要な場合は、総合ヘルプデスクに電話、またはメールで問い合わせいただきたい。

- ①[移行データアップロード]を押下する。
- ②処理開始のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックしてアップロードを開始する。
- ③アップロード処理が成功するとメッセージが表示される。[OK]ボタンを押下すると「移行対象データ選択画面 (トップ画面)」へ遷移する。

アップロード処理を行った日の夜間に各農業委員会等利用システムにデータがセットされるので、翌日以降に各農業委員会等利用システムへログインし確認すること。

各農業委員会等利用システム データ移行ツール [Version 1.0.0.0] - 3320000

移行データアップロード処理

トップに戻る ひとつ前に戻る ログアウト

移行対象データ	取込状況				アップロード状況	
	日時	件数	レイアウト チェック	論理 チェック	日時	件数
農地データ	2016年03月01日 15:28	200件	済	済	一年一月一日 ---:--	-件
個人データ	2016年03月01日 15:28	453件	済	済	一年一月一日 ---:--	-件
世帯・法人データ	2016年03月01日 15:28	113件	済	済	一年一月一日 ---:--	-件

移行データ出力

確認用移行データ出力 アップロードされる移行データの内容を確認するための、移行データの出力が可能です。

移行データアップロード

① 移行データアップロード 移行データを各農業委員会等利用システムへアップロードします。

情報

移行データのアップロード処理を実施します。よろしいですか？

②

情報

農地データ、個人データ、世帯・法人データのアップロードに成功しました。

③

図 17：アップロード画面